

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	湯沢市役所	代表者名	湯沢市長 佐藤一夫		
担当者部署	ふるさと未来創造部	連絡先電話番号	0183-56-8387		
担当者役職	班長	担当者氏名	皆川 典子	連絡先E-mail	
住所	0128501 秋田県湯沢市佐竹町1-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体の広報業務について、基本的な考え方から伺うことができ、また担当が日々悩んでいる些細な疑問にまで丁寧に考え方や対応をご教授いただき、業務に対してあらためて前向きな気持ちを持つことができました。研修会の打ち合わせでは、内容について具体的にうかがうことができ、準備段階での不安が無くなりました。
アドバイザーへの要望事項	ご教授いただいた内容を、ボイスレコーダー等で一言も漏らさず記録しておきたかったと思いました。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月31日	事前打合せ(実地)	有	令和5年12月14日	1093
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月1日	支援・助言（実地）	13時45分	16時45分	
				活動時間（分）	180
3-2. 派遣場所	会場名	湯沢市役所	最寄駅	湯沢駅	
	所在地	秋田県湯沢市佐竹町1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	---------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	湯沢市役所ふるさと未来創造部情報政策課職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現在、市のDX推進計画を策定しており、「人のつながり」を基盤と位置づけ、まずは市役所からの情報発信力を強化し、次に市民が市役所に簡単に意見を伝えられる環境づくりに取り組み、将来的には、デジタルを通じて、距離や雪の障壁を越える全く新しい市民同士のつながりの創出を目指している。 現状、LINEやFacebook、Xなどを活用した情報発信を行っているが、職員によってはデジタルに苦手意識があることから、広報紙やホームページと同じような内容での発信にとどまっており、届けるべき相手を見据えた情報発信とはなっていない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	将来的には、デジタルを通じて、距離や雪の障壁を越える全く新しい市民同士のつながりの創出を目指していることから、広報紙を縮小していくと同時に、SNS等デジタル媒体での発信力を強化していきたい。自分の業務を起点にデジタル広報の基礎知識・考え方を習得してもらい、また原課からの相談にも広く応じられるよう、SNSの特徴に応じた情報発信の手法を併せて習得してもらいたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	XはLINEが何らかの理由で使えなくなった時の補完と考え、今後の不透明さはあるものの、使っておく必要はある。YouTubeは、誰がどんな動画を見ているか、どんな情報を載せるとブロックが増えるかチェックし、届けたい相手を考える。Instagramは、ハッシュタグを多くつけ、湯沢のイメージの言葉をのせること。市民情報員の発信にはコメントして、さらに発信したい気持ちにさせる。広報紙が一番強いプッシュメディアなので、表紙をめくらせる工夫が必要。誰にどんな行動を取らせたいのか、具体的に捉えて、そのための仕掛けを考えること。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	SNSで発信する際の具体的な使いかたを伺い、フォロワー数の伸び悩みをそれほど気にすることはないと気が楽になりました。また、広報紙での読者プレゼントでも、ただ業者から提供されたものを提示するのではなく、業者の狙いや希望を聞いて発信するといった、アナログな発信についてもご教授いただき、目から鱗でした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	翌日に開催する研修会の打ち合わせを行い、研修会については翌日持ち越しとなりました。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 班内での業務についての支援だったので、アンケートは行っておりませんが、各々が担当する情報発信業務について、より受け手のことを考えるように意識が変わった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	広報紙での情報発信中心から、苦手意識を減らして市公式SNSを活用した情報発信が中心になるよう、職員全体の意識を変える。	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

